

4 「オホーツクの森」のフィールド案内

いにしえ 古の森

「網走南部森林管理署 117 林班 1、ち小班」

ここ「古の森」は、原生林を思わせる巨樹・巨木が茂る森林です。

オホーツクの森の中心部にあるしらかば十字園に接する場所にあり、「古の森」歩道への入口は3箇所、歩道の総延長は約1kmです。

シラカバ十字園側はハルニレの林木遺伝資源保存林※になっています。(ハルニレの葉)
そのため、ハルニレの大径木が多数見られます。

※ 林木遺伝資源保存林は、主要林業樹種及び希少樹種等の林木の遺伝資源を対象に、林木遺伝資源の総合的な収集・管理・利用システムの整備に資することを目的に設定しています。

200～400年も生きているエゾマツやヤチダモ、ハリギリなどの大径木、木に穴をあけたクマゲラの食痕、クマの爪痕、エゾシカが泥浴びをするヌタ場、倒木の上に芽生えたエゾマツなどが生長している倒木更新、卯原内川の源流部、ツルアジサイやイワガラミなど木に登るツル植物の花など森林生態をいろいろ観察できます。林内に設置された解説板をお読み下さい。

また、古の森をくわしく解説した冊子『オホーツクの森「古(いにしえ)の森」案内』が発行されていますのでご覧下さい。



十字園入口



解説板の例

16 斜面に生えている木のバランス感覚

針葉樹
針葉樹は、木が傾いた斜面の下側の幹や根を太らせて、下から押し上げるようにしてバランスをとります。

広葉樹
広葉樹は、木が傾いた斜面の反対側の上側の幹や根を太らせて、反対側から引っ張るようにしてバランスをとります。

41 ハウチワカエデ (別名 メイゲツカエデ) 【カエデ科】

- ・高さ10mくらいになり、花と実が美しく街路樹や公園樹として使われる。
- ・葉は対生で全体的に丸みをおび、手のひら状に浅く裂ける。天狗のウチワに似ている。緑は大きな粗いギザギザ(重鋸歯)、先が急に細くなり、葉柄は赤く短い。基部は心形。秋にはきれいに紅葉する。
- ・花は暗紅色で花弁が5枚、雄花と両性花からなり、雄しべと雌しべが目立つ。
- ・果実は長さ2.5cmの翼果が2個1組で左右斜めに開き、回転して飛散する。
- ・名前の由来 天狗のウチワの羽ウチワからの説。カエルの手のカエデ。

ハウチワカエデ ペニイタヤ

ヤマモミジ

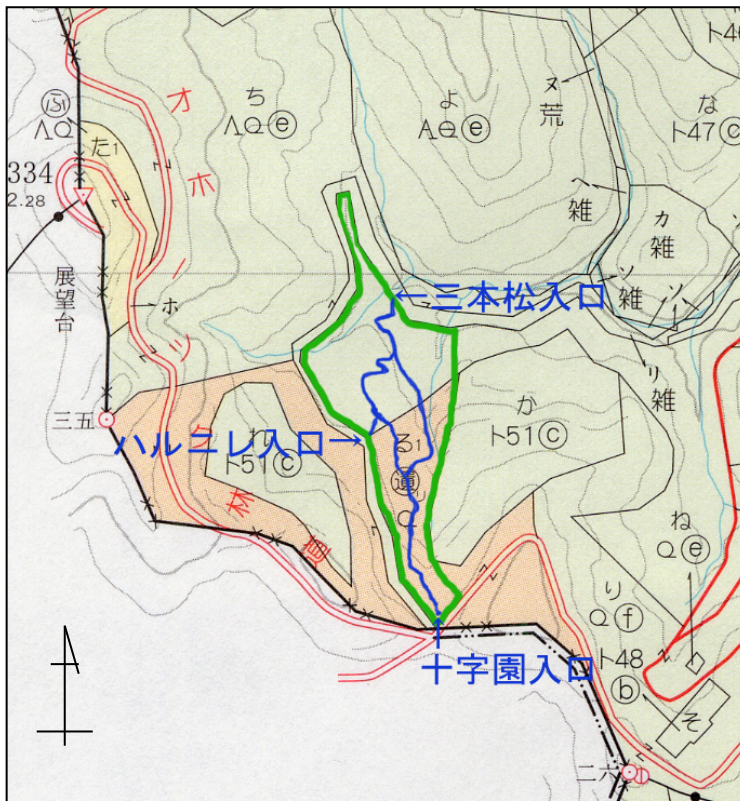
イタヤカエデ

針葉樹

広葉樹

林内歩道

- 十字園入口からハルニレ入口まで 500m
- 十字園入口から三本松入口まで 700m
- 十字園入口から中道を回って十字園入口まで 1,000m



(エゾマツの大径木)



(倒木更新)

(図：網走南部森林管理署117林班る1、ち小班)

117林班る1小班のデータ
<p>Ⓢ：林木遺伝資源保存林</p> <p>□：広葉樹</p>
<p>(十字園入口までの距離)</p> <p>北見駅からの距離：22.2km</p> <p>国道39号端野町一区からの距離：10.3km</p> <p>網走市からの距離：27.8km</p> <p>卯原内市街からの距離：12.8km</p>

117林班ち小班のデータ
<p>□□：針葉樹広葉樹</p> <p>Ⓢ：育成天然林施業群</p>